**地域密着型サービス運営推進会議記録（第1回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | 小規模多機能ホーム緑風会登子 |
| 施設種類 | 小規模多機能型居宅介護 |
| 開催日時 | 令和元年５月２９日　　　１１時００分　～１１時４５分 |
| 会場 | 緑風会登子デイルーム |
| 参加者 | 利用者代表 | ０人 |
| 利用者家族代表 | １人 |
| 地域住民代表 | ３人 |
| 有識者 | １人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | ０人 |
| 事業者 | ２人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | ・利用者の現況報告、職員研修、行事について・事例報告について・地域防災について・その他意見交換 |
|  |
| 議題 | ・利用者の現況報告について（事業所）今年度はじめての運営推進会議となります。委員の皆様、今年度も緑風会登子・尊氏の事業所運営にご協力いただきありがとうございます。それでは、4月・5月の利用状況について報告します。4月は利用者の入れ替わりが非常に多い月でした。新規登録者が3名、登録解除者が4名。4月末での登録者数は19名です。5月（5/27時点）は新規登録者が2名、利用者数は21名で現在運営しております。次に行事・研修についてです。春先の天候が良い時期という事もあり、花見や鯉のぼり見学などの外出行事を多く実施し、地域の方々との交流を行いました。・事例検討（事業所）登子利用者でこの度、西部高齢者お世話センターや地域の民生委員の方にも協力をいただいたケースがありましたので、ご報告します。昨年の5月に自宅で倒れ医療機関で3ヶ月の入院治療の後、登子を再利用となりましたが、数か月間自宅を放置していたため、自宅で生活が出来る環境にならず、当事業所の泊りサービスを継続利用していました。キーパーソン（親類）や地域の世話人とも幾度か今後の生活場所について話し合いや施設見学をしてきましたが、思うように進展がありませんでしたが、平成31年4月26日に阿南市内のグループホームへの入居が決まりました。今回は、本人様と周りの人間との思いが一致しなかった、再び自宅で生活するという選択肢も持っていたが、実現に要する費用面等の問題もあり、施設入居となりましたが、今後も高齢者の独居生活、身寄りのいない方への支援について考えさせられたケースでした。（委員）確かに高齢者の世帯構成も変わってきており、このようなケースが増えてくると予想されます。今回のケースも成年後見人制度の活用も視野に話をすすめていきました。お世話センターの力だけでは限界もあるので、事業所や周りの方の協力を得ながら、本人が望む生活を支援していきたいので今後も協力お願いします。・地域防災について（事業所）先般、西部高齢者お世話センターよりケアマネジャー用に担当する利用者の自宅、本人の災害避難状況に関するチェックシートを頂き、当事業所の利用者について調査をしてみました。調査をすすめていく中で、有事の際、自宅にいる利用者を助けに行くというのは現実的に難しいとも感じました。（委員）今回のシートは利用者の自宅や周辺の状況をまずはケアマネジャーが把握するという目的を持って配布しました。ケアマネさんは日頃から利用者の家に行く事が多いので、防災に関しても利用者にアドバイスなどを送っていただければ幸いです。（事業所）最近では、地震よりも豪雨災害の方が身近に起こりうる災害ですが、当事業所では洪水避難として、大野小学校へ避難すると決め避難訓練でも行っています。（委員）その考えは間違ってはいません。実際にこの近辺で上階避難ができるのは、今のところ大野小学校ですので。しかし、どのタイミングで避難を開始するかを誤れば、施設から出る事も危険になります。実際にこの施設より小学校方面も道路は冠水するので。かといって、東側へ進むのも危険です。那賀川からの支流があるので、洪水の恐れがあります。（事業所）貴重なご意見ありがとうございます。今後の防災避難訓練に活かしてまいります。なお、6月には事業所で防災避難訓練を実施する予定ですので、実際の訓練を委員の方々に見ていただき、意見を頂戴したいので、ぜひご参加ください。 |
|  |